

行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画（案） 各課意見対応結果

※文章の単純修正等を除く。

No.	ページ数・場所	意見等の概要	対応修正
1	計画書全体	「連携」「協働」の用語が混在している。	「連携」は、複数の主体が互いに連絡を取り、各主体の目的を果たすため、一緒に物事に取り組む。 「協働」は、同じ目的に向かって一緒に取り組む。 なお、「連携」は参考資料の用語解説に追加。
2	〃	「市民」「住民」「団体」「事業者」の用語が混在している。	「市民」は、「住民、団体、事業者」をさす。 「市民団体」「市民活動団体」は、「団体」としてまとめる。 「地域主体」は、「市民主体」とする。
3	〃	「本市」「市」の用語が混在している。	「本市」として統一する。
4	〃	文末が「です。」「である。」が混在している。	「です。」に統一する。
5	P18 「○祭り・民俗行事」	市全域で祭り、イベント、民俗行事が行われているため、取り上げる必要がある。	各地域の「獅子舞」や「天王様の祭り」を追加。
6	P19 「歴史・文化的資源の特性」	〃	「長年にわたる人々の生活の中から多様な文化や祭りが生まれ、今もなお息づき、継承されている。」の一文を追加。
7	P22 「公共施設」「工業団地」「道路」	具体的な内容となっていることから、本市の特性であるため、全体を捉えた内容にすべきである。	「公共公益施設」 市役所や埼玉県行田地方庁舎、産業文化会館、商工センター、コミュニティセンターなどの公共公益施設が中心市街地に集積しています 「工業団地」 富士見工業団地、行田みなみ産業団地、長野工業団地が整備されており、自動車産業系や物流系の工場・施設が多く立地しています。

			<p>「道路」</p> <p>国道125号や行田バイパス、国道17号熊谷バイパスなどの骨格となる国道が整備されていることから、高速自動車道へのアクセスも比較的良好となっています。</p>
8	P36「行田らしいまちづくりの基本理念のイメージ図」	「行田らしさ」という資源は、現状に既に市全体にあるが、イメージ図は魅力がない印象をうけるため、修正する必要がある。	現状の図に木々を生やし、行田らしさが既にあるイメージを表し、そこからみんなで育ててゆき、成長し、にぎわいが増し、豊かな森となるという流れに修正。
9	P37「“行田らしさ”とは」	「“行田らしい”風土」だけでなく、気風も加えるべきである。	「“行田らしい”風土・気風」に修正。
10	P38「“行田らしさ”とは」	”	「“行田らしい”風土・気風を活かし、にぎわいにつなげるまちづくり」に修正。
11	P41「【秩父鉄道行田市駅周辺を核としたにぎわいづくり】取組みの方向」	「誰もが歩きたくなる回遊性の向上」は、文章のつながりが不自然である。	「誰もが歩きたくなる回遊しやすいまちなかの形成」に修正。
12	P42「【忍城址や水城公園などを核としたにぎわいづくり】」	「誰もが歩いて回遊し、水と緑にふれあうことができる空間を創出する」は、歩いてと回遊という、似ている言葉が連続しているため、文章が不自然である。	「誰もがゆとりを感じ、水と緑にふれあうことができる空間を創出する」に修正。
13	P43「【JR行田駅周辺を核としたまち並みづくり】取組みの方向」	「JR行田駅周辺の空き地の有効活用とまち並みの形成」は、にぎわいづくりに関する内容である。	「JR行田駅周辺の低未利用地の活用とまち並みの形成」に修正及び同ページ【JR行田駅周辺を核としたにぎわいづくり】に移動。
14	P50「(2)モデル地区における市民意向」	【第1回景観まちづくりワークショップにおける主な意見】というタイトルは、分かりにくい。	【モデル地区の魅力と課題に対する主な意見】に修正。

15	P51「Ⅱ」	【第3回景観まちづくりワークショップにおけるプロジェクトの提案】というタイトルは、分かりにくい。	【モデル地区におけるプロジェクトの提案】に修正。
16	P57「(3)モデル地区の課題」	課題の4つ目に記載されていた、「○人口減少と低未利用地の増加に歯止めをかけ、誰もが訪れたい、住みたいと思うまちづくり」の位置を変更してはどうか。	優先順位はないが、全体的な内容であるため、課題の1つ目に移動。
17	P57「(3)モデル地区の課題」	「○地域住民や事業者、団体等の連携による市民等の主体的なまちづくり」は、「住民」「団体」「事業者」の用語が混在している。	「○市民の連携による主体的なまちづくり」に修正。
18	P58「1.モデル地区の展開【ゾーン・拠点】」	各ゾーン・拠点が分かりにくい。	各ゾーン・拠点の凡例を表に追加。
19	P58「1.モデル地区の展開【ゾーン・拠点】」	各ゾーン・拠点 文末が「図ります。」「進めます。」「目指します。」と記載されているが、ここでは各ゾーン・拠点の説明にすべきではないか。	各ゾーン・拠点の説明文として統一。
20	P65「1-6歩行者空間や空き地等における緑化活動の支援」	「1-10 地域における空き地や道路空間の管理・保全の支援」は「1-6 歩行者空間や空き地等における緑化活動の支援」「1-7 歩きたくなるまちに向けたまちなかの美化活動の支援」と似ている内容であるため、統一しても構わないのではないか。	「旧1-7歩きたくなるまちに向けたまちなかの美化活動の支援」の「実施例：前谷地区及び長野地区の環境保全協議会による植栽作業」を「1-6歩行者空間や空き地等における緑化活動の支援」に移動。
21	P65「1-7歩きたくなるまちに向けたまちなかの美化活動や空き地等の管理・保全の支援」	〃	「旧1-10地域における空き地や道路空間の管理・保全の支援」と併せ、「1-7歩きたくなるまちに向けたまちなかの美化活動や空き地等の管理・保全の支援」に修正。
22	〃	〃	「きれいで居心地の良いまちなかを形成するため、市民などが主体となり、路地やまちかどなどを花や緑で彩る環

			境美化活動やごみ拾いなどの清掃活動、空き地や道路空間の管理や保全を行い、行政は管理・保全に必要な支援を行います。」という文章に修正。
23	〃	施策の統一をしても、「実施例：行田市道路等里親制度」は残した方が良い。	「実施例：行田市道路等里親制度」は、「1-7 歩きたくなるまちに向けたまちなかの美化活動や空き地などの管理・保全の支援」に移動。
24	P66 「1-10 まちづくり活動やイベントの情報発信」 P67 「1-11 まちづくりニュース等の発行によるまちづくり意識の醸成」	「1-10 地域における空き地や道路空間の管理・保全の支援」は「1-6 歩行者空間や空き地等における緑化活動の支援」「1-7 歩きたくなるまちに向けたまちなかの美化活動の支援」の統一により、施策番号の変更。	「1-10 まちづくり活動やイベントの情報発信」 「1-11 まちづくりニュースなどの発行によるまちづくり意識の醸成」に変更。
25	P66 「1-10 まちづくり活動やイベントの情報発信」	「1-11 まちづくりニュース等の発行によるまちづくり意識の醸成」の実施例に、「行田の迷い方」を盛り込んでどうか。	行田の迷い方（行田市観光協会発行）を追加。
26	P72 「4-2 空き地や空き家を活用したコミュニティスペース等の滞在・交流空間の整備」	「4-2 空き地や空き家を活用したコミュニティスペース等の滞在空間の整備」は、にぎわいを創るために利用することから、滞在空間という表現は修正すべきである。	「4-2 空き地や空き家を活用したコミュニティスペース等の滞在・交流空間の整備」に修正。
27	P74 各軸の方針、界わい・まちかどの方針	各軸、界わい・まちかどの取組み後のイメージが分かりにくい。	各軸、界わい・まちかどの段階的な空間形成イメージ（フォトモンタージュ）を追加。
28	P76 「具体的施策展開図」	電線類の地中化は、国道であるため難しいと想定されるため、「・景観形成のルールづくりと電線類の地中化（濃緑の線）」「・景観形成のルールづくり（緑線）」に分けずに統一してはどうか。	「電線類の地中化」は削除し、一つに統一。（緑線）

29	P82「取組みの方向」	文章において、観光発着拠点をあらわす内容が弱い。	「地域資源や拠点施設などへのアクセスの向上を図るとともに、拠点性を高めるため、既存の駐車場や行田市バスターミナルなどを活用し、観光発着拠点の整備を図ります。」に文章を修正。
30	P84「具体的施策展開図」	「・歴史的なまち並みづくりに向けた外観や塀の補修（緑線）」と「・まちかど空間の建物の塀や工作物の修景（黄エリア）」は内容が重複しているため、統一してはどうか。	「・まちかど空間の建物の塀や工作物の修景（黄エリア）」を削除し、「・歴史的建築物と調和したまち並みに向けた外観や塀などの修景整備」に文章を修正。
31	P86「具体的施策展開図」	「・建物の修景（外観や塀）整備」と「・歴史的建築物周辺の舗装の美装化等による、まち並みや環境の整備・管理」は内容が重複しているため、統一してはどうか。	「・建物の修景（外観や塀）整備」は、削除し、「・歴史的建築物と調和したまち並みに向けた外観や塀等の修景整備」に修正。
32	P88「具体的施策展開図」	No.30の文章の修正にともない、修正する必要がある。	「・歴史的建築物と調和したまち並みに向けた外観や塀等の修景整備」に修正。
33	P93「Step3：市民活動の連携や、市民主体の取組みを支援する【市民】」	「・ネットワークの場に積極的に参加し、地域情報を共有する。」「・ネットワークの場から協議会を立ち上げる。」の2文がStep2と内容が重複している。	「・協議会に主体的に参加する。」 「・市民主体のまちづくり活動やまち並みの修景などの活動に取り組む。」に修正。
34	P95「(1)段階的な取組内容と優先度」	No.20と同じ。	「1-7 歩きたくなるまちに向けたまちなかの美化活動や空き地等の管理・保全の支援」に修正及びStep5に●を追加。
35	P109「3.役割分担とスケジュール」	〃	「1-7 歩きたくなるまちに向けたまちなかの美化活動や空き地等の管理・保全の支援」に修正及び団体に●を追加、スケジュールを平成28年度からに修正。
36	P113「4.PDCAによる進行管理」	計画を評価・検証していく必要もあるのではないかと。	「計画の検証」を追加。
37	P115「秩父鉄道行田市駅周	取り組むことにより、どう変化するかモデル地区の全体的なイメージが分	「秩父鉄道行田市駅周辺の歴史的建築物が集積するエリアの将来イメージ」

	辺の歴史的建築物が集積するエリアの将来イメージ」	かりにくい。	を追加。
--	--------------------------	--------	------